



最適化された金取引システム

サービス概要書

Mar. 24, 2022

Exchangers limited
(Japan)

私たちは、エンジニアリングを駆使して、金融の世界を革新していくプラットフォーム企業です。

これまでDXが進んでいなかった領域に、情報技術を導入することで、その領域を活性化させていきます。

そのひとつが金地金の取引でした。アプリ「**Exchangers**」を操作するだけで、誰でも簡単に、いつでも、最良の条件で、金を取引することができます。

最適化された金取引システム。それが **x-Gold** です。

1. 序文

株式会社エクステンジャーズは、2019年12月に、世界の法定通貨に対応した電子マネー「x-Currency」（156通貨）を、また2020年5月に、価値交換プラットフォームのアプリ「Exchangers」を、また2021年2月に、最適化された金取引システム「x-Gold」（XGLD）をリリースし、続けて、最適化されたプラチナ取引システム「x-Platinum」（XPLT）、最適化された銀取引システム「x-Silver」（XSLV）をリリースした。

紙幣、株式、債券などは、発行元の信用が価値の裏付けとなるが、それに対して、金はそれ自身が普遍的な価値を持つため「究極の安定資産」といわれる。特に、世界経済の先行きが不透明な時期には金の需要が高まる傾向が見られる。

また、近年は世界的に金利が低下する傾向があり、長期国債がマイナス金利となる国も少なくない。そのため、資産を安定的で目減りすることのない金で保有する需要も高まっている。

しかし、金地金の売買には諸々の手続きを要し、煩雑であるうえ、金地金は盗難リスクがあり、これを貸金庫などで保管すると経費を要するため、実際に金で資産を保有している人はまだ少ないのが現状である。

そこで我々が提供するのが最適化された金取引システム「x-Gold」である。x-Goldは、煩雑な手続きなくアプリ「Exchangers」で簡単に売買することができ、金地金の保管費用もかからない。x-Currencyから簡単に交換可能である。

発行元のエクステンジャーズ社はx-Goldの発行残高に相当する金地金を保有し、顧客の求めに応じて常に市場価格でx-Goldを売買する。x-Goldは金地金の価値に裏付けられ、その価値は常に金価格と連動する。

我々は、今後、その他貴金属、商品先物、株式、土地、競走馬をはじめ、あらゆる財産的価値のあるものをアプリ「Exchangers」で保管・交換できるサービスを提供することで、金融界のAmazonを目指す。

10年間の金価格の推移 (Gold Ounce, XAU to JPY)



(出典: xe.com)

2. プロジェクト要約

私たちは x-Gold を二種類発行する。

- x-Gold Gram (XGLDgr) 令和 2 年 11 月 30 日リリース
1 グラムの金と同価値となる
- x-Gold Ounce (XGLDoz) 計画中
1 オンスの金と同価値となる

発行者：株式会社エクステンジャーズ

現物の保管場所：日本

現物との交換が可能（100g、300g、500g、1kg）

※交換条件については後記

消費税：課税

※x-Gold を買う時は消費税が上乗せされる。また、x-Gold を XJPY に交換する時は消費税分を上乗せして受け取ることができる。

x-Gold は、アプリ「Exchangers」で保管、交換が可能である（利用者間の送受信は不可）。x-Gold は、アプリ「Exchangers」で購入でき、また Exchangers を通じて XJPY に交換できる。また、店舗において、金地金に交換可能である（ただし、x-Gold は現金と交換することはできない）。金地金との交換は店舗の金地金在庫の範囲内で実施することとし、在庫不足の場合は可能な限り迅速に在庫を補充して交換に応じるものとする。

x-Gold を交換できるアプリ「Exchangers」は、エクステンジャーズ社が、iOS 版、Android 版を提供する。

x-Gold は、日本の法律において、トランザクションを記録した台帳で管理された金取引システムにおける金の預かり証である。x-Gold の発行およびウォレットの提供は、日本の法令に従って行われる。

x-Gold の価値は金地金により 100%担保されている

エクステンジャーズ社が発行する x-Gold は、常に金価格と同価値となる。x-Gold は、アプリ「Exchangers」を操作することで、いつでも XJPY と交換することができ、また金地金の現物と交換することが可能である。エクステンジャーズ社は、x-Gold の発行残高と同量の金地金を保管する。x-Gold は 100%の担保率によって担保され、常に金と同じ価値を保つ。

x-Gold の概要

エクステンジャーズ社は、金価格と同価値となる x-Gold を発行し、同社は、販売の対価として受けた代金を全額、金地金で保管する。常に発行額と同額の金地金を保持することにより、x-Gold の価値の裏付けが担保される（法律上の構成については後述）。

当社は顧客の求めに応じ、x-Gold を随時発行し、また買戻す。また、売買の価格は金価格と同価である（交換手数料は申し受ける）。

x-Gold と金地金との交換、x-Gold と XJPY との交換はエクステンジャーズ社が独占してこれを行なう。

x-Gold 仕様

名 称：x-Gold (x-Gold Gram・x-Gold Ounce)

Code : XGLD (XGLDgr・XDLGoZ)

発行上限と発行目標額：無し（顧客の求めに応じて随時発行）

発行元 : 株式会社エクステンジャーズ

特 徴：常に現物金と同価値となる。随時、XJPY と交換できる。随時、金地金と交換できる。

システム：標準 ERC20 仕様

ネットワークモデル：分散型（プライベート・ネットワーク）

承認アルゴリズム：組織内承認

ブロック生成間隔：約 4 秒

ブロックサイズ：可変

購入者に対する制限：無し

発行手数料：無料

発行価額：現物金価格と同額（1XAU=1XGLDoz=31.1034768XGLDgr）

買戻価額：現物金価格と同額（1XAU=1XGLDoz=31.1034768XGLDgr）

※x-Gold は XJPY に交換することが可能。ただし、現金との交換は不可。

※トロイオンスとグラムの交換率は国際標準を用いる。

※XGLDoz と XGLDgr の交換に当たっては、小数点下 19 位以下を切り捨てる。

【具体的な運用】

① x-Gold の発行

エクステンジャーズ社は、顧客の求めに応じて、x-Gold を随時発行する。譲り渡しは、アプリ「Exchangers」により非対面で行う。代価は XJPY で支払うことができる。

但し、x-Gold を入手するには、利用者が予め Exchangers の「XGLD 復元情報入力」で、メールアドレスと3つの秘密の質問の答えを登録しておく必要がある。

1回の取引上限は200万円とする。但し、法令が定める本人確認を実施した利用者は、取引上限が撤廃される。発行時に所定の交換手数料を申し受けるが、Exchangers に表示される交換レートに手数料が含まれている。

② 現物金地金の保管

エクステンジャーズ社は、x-Gold の発行残高と同額の現物の金地金を保管することにより、x-Gold の価値を担保する。

③ x-Gold から XJPY への交換

エクステンジャーズ社は、顧客の求めに応じて、x-Gold から XJPY へ交換する。XJPY への交換は Exchangers において非対面で実施する。ただし、現金への交換はできない。エクステンジャーズ社は、交換により受領した x-Gold を全て償却する。

取引上限はない。買戻時に所定の交換手数料を申し受けるが、Exchangers に表示される交換レートに手数料が含まれている。

③ 金地金との交換

エクステンジャーズ社は、顧客の求めに応じて、x-Gold を受領して、金地金を引渡す。

引渡し上限はない。引渡し手数料は無料とする。但し、500g 以下の金地金の引渡しについては、当社所定のバーチャージージを申し受ける。

④ x-Gold の再発行

万一 x-Gold を紛失しても、登録したメールアドレスに送信したメールを利用者が受け取ることができ、かつ3つの秘密の質問に正確に回答することができた場合は、x-Gold の再発行を受けることができる。

アプリ「Exchangers」の概要

x-Currency の「サービス概要書」を参照のこと。但し、利用者間で x-Gold を移転することはできない。

3. 価格を安定させるメカニズム

x-Gold の最大の特徴は価格が金価格と連動することである。これを実現するために、私たちは、発行残高と同額の金地金を保有する。

金地金の保管

エクステンジャーズ社は x-Gold の売却代金を全額、金地金で保管する。同社は、x-Gold の売却代金で金地金を購入し、常に x-Gold の発行残高相当の金地金を保有する。

XJPY への交換

エクステンジャーズ社は、x-Gold を、常に金価格と同額の XJPY と交換する（但し、交換手数料を申し受ける）。このように、x-Gold を金価格と同額で販売し、同額の XJPY に交換する。同社は交換により x-Gold を受領すると、それを償却し、保有する金地金を売却して、保有残高を調整する。

4. 顧客が直面している問題

世界経済の先行きが不透明な時期や、国際情勢が不安定な時期は金価格が上がる傾向がある。またインフレでも価値が減じにくい。また、世界的に金利が定価するなかで、相対的に金の需要は拡大している。しかし、このような知識を持っていても実際に金を買っている人は少ない。金価格と連動する暗号通貨 x-Gold が登場することで、金がより身近なものになる。

金の買い方が分からない

金を買う方法はいくつかある。地金商、商品取引会社、古物商、貴金属店などから買うのが一般的である。しかし、買い方によっては高くつくこともあり、また家の近くに条件の良い売り手を見つけられない場合は、通販で費用を負担するか、遠方まで出かけなくてはならない。

また、取引にあたって、本人確認作業があり、場合によっては印鑑を要する場合がある。法人で取引する場合は、登記簿謄本や委任状などの提出も求められる。また、法人での取引は断られることも多い。

このように、金の売買自体が、経験の無い者にとって、一定の敷居があり、多くの人を金の売買から遠ざけていると思われる。

小さい投資金だと割高になる

金地金には 1kg、500g、300g、200g、100g、50g、20g、10g、5g などの大きさがあるが、500g よりも小さい地金には、パーチャージという手数料が別途かかるため、少額投資の場合は割高になってしまう。売却する際も同様である。また、商品取引会社のなかには 1kg の地金だけを扱う会社もある。したがって、少額の投資では利益を得ることは難しい。

地金商のパーチャージの事例

購入(小売)の場合

金地金の種類	地金1個あたりの別途手数料(税込)
1kg・500g	不要
300g・200g・100g	16,500円
50g	8,800円
20g・10g・5g	4,400円

売却(買取)の場合

1件あたりのご売却重量	ご売却1件あたり別途手数料(税込)
500g以上	不要
500g未満~100g以上	16,500円
100g未満~50g以上	8,800円
50g未満~20g以上	4,400円
20g未満	2,200円

自分で保管すると盗難に遭うのが心配

預金や有価証券の場合は、銀行や証券会社が預かってくれるが、金地金の場合は自分で管理するため、盗難のリスクがある。そのリスクを回避するために銀行の貸金庫を借りる方法もあるが、毎月利用料を支払う必要がある。また、地金商のなかには地金を預かってくれる会社もあるが、保管費用は顧客が負担しなければならない。

支払手段が日本円に限定される

通常、金地金を買うには日本円で決済しなければならず、米ドルやユーロなどの外国通貨で支払うことはできない。

売るのも手間がかかる

金地金は買うのに手間がかかるが、売るのには一層手間がかかる。買取価格には大きな差があるため綿密な調査を要するだけでなく、窓口に出向く必要があり、郵送でその手間を省こうとすると、運送事故のリスクを顧客が負うことになる。また、地金を買った際の書類の提出を求められることがあり、本人確認以外にも提出する書類が多い。

それだけではない。傷ついた地金や変形した地金は買取を拒否されることがあり、また近年はマネロン・テロ資金供与防止の観点から、外国銘柄の地金を受け付けない地金商や商品取引会社が増えている。

x-Gold が解決できること

これまで検討してきたように、通常金地金の売買にはいくつかの問題点があった。これらの問題点を全て解消するのが x-Gold である。

アプリ「Exchangers」のユーザーは、画面を操作するだけで x-Gold を入手し、あるいは交換することができる。また、本人確認をする必要がないため、提出する書類もない（ただし 200 万円を超える x-Gold を買う場合は本人確認を要する）。「金を買いたい」と思ったら、即座に入手することができる。

x-Gold の価格にはすでに売買手数料が含まれていて、別途売買手数料は課されない。含まれている売買手数料も大手地金商と同等程度の手数料であり、x-Gold を利用していれば、毎回、各社の価格を比較する手間も省ける。

また x-Gold の価格は、地金商が 1kg の地金の売買に用いる価格と同程度に設定してあるが、x-Gold のユーザーは 500g 未満の取引であっても、この価格が適用され、別途バーチャージが課されることはない。よって、少額の投資金でも、1kg の地金を売買するのと同じ条件で x-Gold を交換することができる。

x-Gold の価値の根拠となる地金は、発行者であるエクステンジャーズ社が保管し、x-Gold のホルダーには保管手数料が課されない。よって、金銭的負担なく盗難のリスクを回避することが可能である。

x-Gold はアプリ「Exchangers」を操作することで、各種 x-Currency と交換することができる。

また、x-Gold は XJPY に交換するのも簡単である。面倒な価格の比較や、提出書類もない。それに、x-Gold から XJPY への交換では、変形や傷により地金が売れないといったリスクもなく、銘柄の制限も受けない。

このように、x-Gold は従来の金取引の多くの問題を解決するのである。

x-Gold の経済的優位性

金投資の方法は代表的なもので次の 5 種類あるが、次のようなデメリットがある。

①金現物

各社スプレッド及び売買手数料に大きな差があるため、割高な会社から金現物を買ってしまうと、購入時点で大きな含み損を抱えることになる（貴金属メーカーや良心的な貴金属商社から直接購入した場合、手数料は片道 1%程度）。売却時も同様である。また、手数料が安い会社で取引する場合でも、1000g 未満の地金はバーチャージが付加されるため、少額取引では割高な手数料を負担することになる。また、現物の場合は常に盗難リスクがあるほか、金庫の購入経費や、貸金庫の利用料など、保管に経費を要するが多い。

②金積立

手数料が高い。多くの銀行や証券会社で、1.5%程度の取引手数料とは別に、積立時に 2.5%程度の手数を負担する必要がある。また、年会費が徴収されることもある。金地金への交換は不可。

③金先物

手数料は比較的安価だが、限月を迎えるたびにロールオーバーの手続きをする必要があり、煩雑である（ただし、手数料が高い業者もあるため要注意）。もしロールオーバーせずに限月を迎えてしまうと、現物による決済をする必要がありキャリー経費が生じる。これを実行できないと金融事故を起こすことになるため注意を要する。また、差入証拠金が少額で価格が下落した場合は、強制的に反対売買による決済が行われる可能性がある。また、ロールオーバーするたびに手数料が課せられる。

④金 ETF（金上場投資信託）・金非上場投資信託

売買時にスプレッドによる手数料を負担するほか、一日ごとに信託報酬が課金されるため、長期投資に向かない。投資期間中の信託報酬は、投資金額の 0.4%～1.0%（年）程度である。また購入時に手数料（上限 2.0%程度）が課されるため、高い手数料の証券会社を利用すると、購入時点で大きな含み損を抱えることになるため注意を要する。

⑤金 CFD（金差金決済取引）

売買時にスプレッドによる手数料を負担するほか、一日ごとにスワップポイントを負担する必要がある、長期投資に向かない。金 CFD は対ドルで構成されているため、日本円から金 CFD に投資する場合は、円を売ってドルを買い、ドルを売って金を買う構成になる。円ドルの金利差よりも、ドル金の金利差の方が大きいため、金 CFD は対円では常にスワップポイントはマイナスになる（金 CFD の対ドルのスワップポイントはドルの金利により変動する。ドルの金利が高くなるほど、スワップポイントのマイナスは大きくなる）。また、差入証拠金が少額で価格が下落した場合は、強制的に反対売買による決済が行われる可能性がある。金地金への交換は不可。

次ページに比較表を掲載したので、参照されたい。

		特徴	費用	
			購入時	投資期間中(年間費用)
投資信託	非上場投資信託	<ul style="list-style-type: none"> ・少額から投資を行える ・現物を手元におけない 	資産残高×0.5%~2.0%程度	資産残高×0.4%~1.0%程度
	ETF (上場投資信託)		0.05%~1.5%程度 (株式などと同様に各証券会社の 売買手数料に準じる)	資産残高×0.4%~0.5%程度
金地金・金貨		<ul style="list-style-type: none"> ・購入した金を手元における ・現物を保管する費用・手間が 発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売・買取価格スプレッド 1.5%程度 ・売買取引手数料 1~15%程度 ・小型の地金は費用が割高になる 	保管方法による (参考)三菱UFJ銀行貸金庫 年間使用料(消費税込) 16,170円 (5.7cm×26.2cm×40.0cm)
純金積立		<ul style="list-style-type: none"> ・積立により自動的に継続した 投資が行える。 ・積立金を現物に交換できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小売・買取価格スプレッド 1.5%程度 ・購入手数料 1.5%~3.0%程度 	年会費 0~3000円程度
金先物		<ul style="list-style-type: none"> ・少ない資金(証拠金)で大きな 金額の取引を行える (レバレッジ効果) 	証拠金×0.004%~1%程度	明示的に支払うコストはない。 ただしキャリーコストを負担
CFD			スプレッド0.02%~1%程度	調整金を支払う(もしくは受け取る) 金額は業者、市況などにより様々

金の投資方法の違いによる費用の比較

出典：<https://www.nli-research.co.jp>

Bloomberg、三菱UFJ銀行などのデータをもとにニッセイ基礎研究所作成

そこで、6番目の選択肢となるのが x-Gold である。x-Gold は、売買時に片道 1%程度の手数料が生じるが、それ以外に、信託報酬、マイナスのスワップポイント、ロールオーバー手数料、保管経費などの経費は課せられないため、既存の方法と比較すると経済的優位性は高く、長期保有においてはもっとも優位性が高いといえる。また、いつでも金地金への交換が可能な点もメリットといえる。

ただし、x-Gold ではレバレッジを効かせることができないデメリットがある。

5. x-Gold とアプリ「Exchangers」の利用方法

x-Gold の利用方法は、多岐に渡ると考えられる。利用者が新たな利用方法を考案することも歓迎したい。ここでは、代表的な利用方法をいくつか紹介する。

金地金を購入する

Exchangers を使って、XJPY と交換して x-Gold を入手し、外貨両替店エクステンジャーズの店舗で金地金を受け取ることができる。従来は、販売店で金地金を購入するまで、売買価格は確定できなかった。しかし、Exchangers を用いることで、操作した時点の価格で金を購入することができる。

金投資する

金地金を自己で保管することなく、安全に金投資したい場合は、金地金に交換せずに x-Gold をそのまま保持することで、地金を保管するリスクを回避することができる。発行元であるエクステンジャーズ社は、発行残高相当の金地金を保管している。x-Gold のホルダーは、保管量を支払うことなく、事実上の地金保有ができるため、x-Gold を使った金投資には大きな魅力がある。

また、通常は少額の金投資は割高になるため、投資リスクが大きくなる。しかし、x-Gold は最大ロットで地金を購入するのと同じ条件で売買することができる。

不況やインフレに備えた資産形成

世界経済の先行きが不透明になると、資産を安全なところに退避させる動きが活発になる。なかでも「安全」とされているのが、日本円、スイスフラン、そして金である。「Exchangers」では、日本円、スイスフラン、金などを、好きな時に好きなだけ売買することができ、迅速に資産を安全なところに退避させることが可能である。

その他、x-Gold により新たに金の活用方法が考案されることを期待する。

6. 手数料及び税金

x-Gold については、下記の手数料を申し受ける。

- x-Gold 売買手数料

x-Gold の売買時にかかる手数料。Exchangers 上の交換レートに手数料は含まれているため、別途徴収することはない。適用されるレートについては、Exchangers に表示される交換レートを参照されたい（リリース後、当面は、交換手数料を約 1%弱に設定する。但し、交換手数料は予告なく変更される場合がある）。

- バーチャージ

100g、300g、500g の金地金を払出す際には、1 本あたり 18,000 円のバーチャージを申し受ける。日本円現金または XJPY で決済可能。1kg の金地金の払出しについては無料。

- 消費税

x-Gold を購入する際と、x-Gold を XJPY に交換する際は、消費税が課税される。利用者は、x-Gold 購入時に消費税分を上乗せして支払う必要があるが、x-Gold を XJPY に交換する時には消費税分を上乗せして受け取ることができる。

7. x-Gold でできること

下記の各項目につき、できることを「○」、できないことを「×」で示す。

x-Gold を売買する手段

- エクスチェンジャーズの店頭で買う →× (店頭で XJPY を買うことは可能)
- アプリ「Exchangers」で買う →○
- エクスチェンジャーズ店頭で売る →×
- アプリ「Exchangers」で売る →○ (XJPY に交換可能)

x-Gold を買う時の支払手段

- 日本円現金 →×
- XJPY →○
- XJPY 以外の x-Currency →×
- クレジットカード →×
- 銀行振込 →×
- SUICA、Edy、PayPay などその他の決済手段 →×

x-Gold を交換する時の受取通貨

- 日本円現金 →× (x-Gold は直接現金化できない)
- XJPY →○
- XJPY 以外の x-Currency →×
- クレジットカード →×
- 銀行振込 →×
- SUICA、Edy、PayPay などその他の決済手段 →×

その他

- x-Gold を金地金に交換したい →○ (ただし 100g、200g、500g、1kg のみ)
- 金地金を x-Gold に交換したい →× (今後実施する予定)
- x-Gold をウォレットで第三者に送信したい →×
- XGLDgr を XGLDoz に交換したい →○ (XGLDoz はまだリリースされていない)
- XGLDoz を XGLDgr に交換したい →○ (XGLDoz はまだリリースされていない)
- 商店などで x-Gold で支払いたい →×
- x-Gold を買ったけどキャンセルしたい →× (相場性のある商品なので取消不可)

8. システム構築

エクステンジャーズ社は 2019 年 12 月に x-Currency の供給およびアプリ「Exchangers」の配布を開始した。その他、Exchangers 管理システム等、付帯するシステムも稼働し、リリース後も、随時システムを改修しアップデートを実施している。

システム構築の詳細は、x-Currency と共通するものであるため、x-Currency の最新版のサービス概要書を参照されたい。

9. x-Gold の法的性質

法管轄

x-Gold は、日本法人である株式会社エクステンジャーズが、日本の法令に基づいて日本で発行する。また、x-Gold の交換には、日本の法令が適用される。

法律上の性質

x-Gold は、トランザクションを記録した台帳で管理された金の預かり証であり、その価値は金価格と連動する。

x-Gold は交換市場がなく、利用者間の移転ができないため、資金決済法の「資金」「資金移動業」、金融商品取引法の「有価証券」には該当しない。また、利用者が x-Gold を買う行為は、金地金を買う行為そのものであるから、「デリバティブ取引」にも該当しない。また、当社が利用者から預かっているのは金地金であって、金銭、通貨、資金ではないため、銀行法の「預金」、出資法の「預り金」にも該当しない。また、x-Gold の売却と交換において、現金は介在せず、当社が利用者へ引き渡す金地金は「商品」であって銀行法の「資金」には該当しないため、当該取引等は銀行法の「為替取引」にも該当しない。また x-Gold を紛失しても、条件を満たせば復元できること、また「前払」に該当しないことから、x-Gold は資金決済法の「前払式支払手段」にも該当しない。

10. マネロン・テロ資金供与対策

マネロン・テロ資金供与対策は x-Currency と共通するものであるため、x-Currency の最新版のサービス概要書を参照されたい。

11. セキュリティー対策

セキュリティー対策は x-Currency と共通するものであるため、x-Currency の最新版のサービス概要書を参照されたい。

12. 実行機関

法人概要



(日本法人)

株式会社エクスチェンジャーズ (英文社名 : Exchangers Co.,Ltd.)

〒104-0061 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 1 階

代表取締役 CEO 竹田恒泰

資本金 4 億 7,102 万円

創 業 平成 28 年 7 月 1 日

従業員数 15 名

年 商 約 100 億円

13. スタッフ

株式会社エクステンジャーズ 主要スタッフ プロフィール



竹田恒泰

平成 10 年 3 月慶應義塾大学法学部法律学科卒業。作家。平成 28 年に株式会社エクステンジャーズを設立して、外貨両替業務を開始し、三年間で年商 100 億円の企業に育て上げた。平成 30 年に Exchangers project を立ち上げ、総責任者として同プロジェクトを統括してきた。



石橋正敏

平成 15 年 3 月大阪大学大学院修了、同年株式会社 NTTDATA に入社。平成 24 年 5 月株式会社バロッコ代表取締役役に就任。多業界の基幹システム、業務システムの上流工程から開発のプロジェクトマネジメントを経験し、株式会社エクステンジャーズの外貨両替システムの構築に携わる。現在は Exchangers project のシステム開発の PM を担当する。



徳永煌季

平成 22 年早稲田大学国際教養学部卒業、同年 JP モルガン証券に入社。債券及びデリバティブ商品の決済業務を担当した後、法人営業として上場金融派生商品の提供や助言業務等に従事。平成 26 年から地方自治体に対する不動産再生事業を手掛け、現在はエクステンジャーズ社の財務を統括する。



山崎仁

平成 7 年大阪市立デザイン教育研究所卒業後、海外留学。帰国後に古物・美術品のインターネットショップを運営し e コマース草創期から成熟期を経験。平成 28 年株式会社エクステンジャーズ創業から携わり、外貨両替業務のノウハウを構築、エクステンジャーズの全国展開に貢献する。香港店運営を経て現在は全店舗業務を統括する。



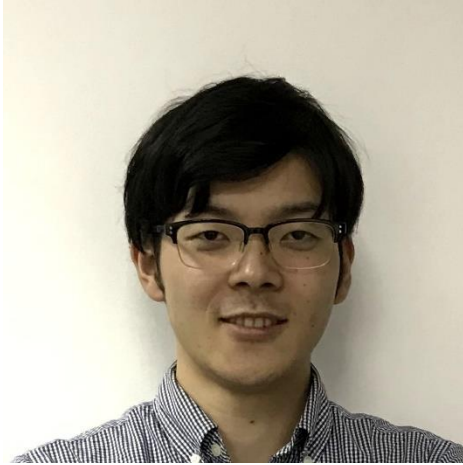
田岸三佳

Sydney Institute of Technology (TAFE NSW) にてグラフィックデザイン科を専攻。卒業後、国内外のデザインオフィスや広告代理店に勤務。平成 22 年に **THREE design** を開業。各種印刷物・ウェブサイト・広告等、多岐にわたるジャンルのデザイン・制作に従事する。エクステンジャーズのビジュアルデザインを担当する。



奥田雄馬

平成 25 年関西学院大学経済学部卒業、同年システム開発企業に **SE** として入社し、IT 技術やプロジェクトマネジメントを学ぶ。平成 29 年フィンテック関連のスタートアップ企業に役員として就任。イーサリアムを用いたアプリケーションの開発、マーケティングに従事する。現在は **Exchangers project** にて、先端 IT 技術の導入やシステム全体の設計、構築を担当する。



福田寛充

平成 27 年東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻修了、同年システム開発企業に入社。不動産管理システムなどの開発に従事。平成 29 年スタートアップ企業の役員に就任。フィンテックのアプリケーションの開発に従事する。現在は **Exchangers project** のエンジニアとしてモバイルアプリの開発などを担当する。

14. ロードマップ

2018 年

02 月 14 日 Exchangers project 立ち上げ

2020 年

11 月 30 日 x-Gold (XGLDgr) リリース

2021 年

02 月 08 日 x-Platinum (XPLTgr) リリース

02 月 18 日 x-Silver (XSLVgr) リリース

x-Currency 及び Exchangers に関するロードマップは、x-Currency の最新版のサービス概要書を参照のこと。